



※写真はイメージです。

No.18

三陸応援団 元気お届けキャラバン

実施時期 **2019年6月1日(土)～8月7日(水)**

実施場所

沿岸市町村の地域コミュニティにおける集会所等

実施主体

主催：三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
協力：開催地市町村（調整中）

事業目的

暮らしの再建途上にある沿岸エリアの住民の方々を対象とし、元気、笑顔をお届けする交流の場を作ることとを目的としたキャラバンを実施することにより、コミュニティ形成に資することを狙いとする。

また、復興支援活動を行っている著名人等にもキャラバンに加わっていただくことで、復興支援のつながりをさらに深めることも狙いとする。

ターゲット

災害公営住宅等の住民
【来場目標】 600人

実施市町村

宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、野田村

関連事業

事業内容

災害公営住宅の自治会やコミュニティ形成支援に携わっている方々、市町村等のニーズを把握しながら、復興支援活動を行っている著名人等にもキャラバンに加わっていただき、主に集会所や地域交流施設等を訪問し、地域の住民の方々に元気、笑顔をお届けするとともに、コミュニティ形成に資する活動を行う。

(1) 元気お届けキャラバン

災害公営住宅自治会等のニーズに沿ったキャラバン活動を実施する。

【キャラバン例】

- ・復興支援活動を行っている著名人によるライブ等
- ・住民が集まる地域活動への参加

(2) 著名人等による三陸地域のPR

本事業を中心に本プロジェクトに関わっていただく著名人等に対し、三陸の応援という趣旨でメディアやSNS等を通じて復興の今や三陸の多様な魅力を情報発信していただくよう協力を依頼する。

期待される効果

- ・ 交流の場づくりのきっかけとすることで、コミュニティ形成の促進や活性化が図られる。
- ・ 復興支援を続けている著名人により、本プロジェクトを全国に発信することを通じて県内・全国に向けて三陸地域に対する関心が喚起される。
- ・ 復興支援を契機として生まれたつながりの一層の深化が図られる。

今後の展開方向

- ・ 災害公営住宅などの新たな住環境における交流機会の拡大など、コミュニティの形成支援とその活性化に向けた取組を促進する。